

日時：平成 22 年 1 月 21 日（木） 15:00-17:30

場所：地盤工学会 地階会議室

出席者：宮田委員長，高橋幹事長，小浪委員，平野委員，本田委員，松本委員，藪委員

欠席者：枝広委員，岡島委員，片田委員，河野委員，篠田委員，松島委員，森川委員

（議事録：高橋）

配布資料

資料 1：平成 21 年度第 2 回委員会の議事録

資料 2：補強土による災害復旧事例（松本委員，ファイルサーバーにアップロード予定）

資料 3-1：2007 年度会長特別委員会の提言について

資料 3-2：2007 年度会長特別委員会の提言について（特別セッション資料）

資料 4：今後の計画案・WG の構成などについて（幹事団素案）+枝広委員からのメールのコピー

議事

1. 前回委員会の議事録の確認

資料 1

- ・ 宮田委員長より，前回議事録案について説明があった。また，参考資料の DVD については，まず，本日の参加の委員で回覧することとし，その後の回覧順序は，幹事団から連絡することとなった。

2. 委員による話題提供

資料 2

- ・ 松本委員より，補強土による災害復旧事例の紹介があった（回覧のみ。後日ファイルサーバーにアップロード予定）。

3. 2007 年度会長特別委員会の提言について

資料 3

- ・ 高橋より，配布資料に基づき，2007 年度会長特別委員会の提言（地震と豪雨・洪水による地盤災害を防ぐために一地盤工学からの提言一）の概要と，関連する平成 21 年 8 月の研究発表会での特別セッションでの内容について説明があった。これに対する質疑は以下のとおり：

➤ 防災と減災の定義は？

→防災は構造的対処等による予防，減災は防災の範囲を超えた時のいわゆるソフト的な対応によって被害を小さくすることを指している。

➤ 耐災とは？

→地震に耐えうる状態とすることを「耐震」と呼ぶように，地震や豪雨・洪水等による種々の誘引（これらの複合的なものも含む）に対して耐えうる状態とすることを「耐災」と呼んでおり，造語である。

➤ 提言 1.2 にある耐震診断と耐震補強の具体的方法について，報告書には記載されているのか？

→必要性等については記述されているが，具体的な個別の方法について詳述されていない。

➤ 提言 1.6 に災害の実態とその社会的影響度の正確な評価や地盤災害のメカニズムの正確な理解等の必要性が強調されているが，これらは現時点で達成されておらず，更なる努力・発展が必要という

ことか？

→そのように理解している。

4. 今後の計画案・WGの構成などについて

資料4

- ・ 高橋より、配布資料に基づき、今後の計画案・WGの構成などの幹事団素案の説明があった。これに対する質疑は以下のとおり：

- **WG** 構成案のように、**WG** を用途別（宅地、道路、鉄道等）に分けると、重複する部分かなりある。例えば、擁壁は宅地、道路、鉄道の何れにも用いられているし、液状化対策なども共通の課題である。
- 例えば、縦軸を（用途別）構造物、横軸を耐災対策の目的とするマトリックスを整理してみると良いのではないか。上記の問題も整理可能となる。
- 同じ構造物（例えば盛土）であっても、用途毎に性能や設計（計算法も含む）の考え方が異なっている。それらを横並びに整理して議論しても良いのでは。
- その場合、表面的な記述等からはわからないこともあるため、異なる考え方になった背景について（ヒヤリングをする等）調査したほうが良い。
- 防災と減災の使い分けについて議論しても面白い。例えば、旧法タンク等の危険物については減災が主流の考え方であるし、官の管理するものは防災が主流である。
- 構造物種別毎の横並びの議論をしやすいように、後ほど **WG** を盛土・抗土圧構造物、基礎、地下構造物の3つに分けるとして、その前に、用途別・構造物毎（宅地の擁壁、宅地の盛土、・・・、道路の擁壁、道路の盛土、・・・）に、性能の考え方、耐災診断法、評価法（計算法）、対策法を整理してはどうか。

→用途別に調べるほうが容易であるため、分担としては、例えば、ある委員は道路（擁壁、盛土、・・・）について調べてはどうか。

→河川を例に幹事団が整理方法を例示し（2月に素案を委員に提示）、3月に分担決定・作業開始、5月に委員会を開催し、横並びで比較して、その後の **WG** 分けや検討内容について議論してはどうか。

→その内容とその後の議論を今年の **GEO** 関東（関東支部の研究発表会）のディスカッションセッションで披露し、他の会員からのフィードバックを受けたい。また、参加者を増やすため、委員会報告のみならず、一般発表も含めたものとしたい。

- 本日出席の委員の希望分担は、以下の通り：小浪委員（高速道路）、平野委員（危険物、ダム）、本田委員（原子力）、松本委員（道路 or 河川）、薮委員（一般道路）、高橋（河川）。

5. その他

- ・ 次回委員会の日程は、後日調整することとなった（5月連休明け）。

以上